

提 案 書

提案名 (25字以内)	五感よ、ひらけ。感じよう世界を・バリアフリーマーケット
グループ名 (25字以内)	バリアフリーフェア2012実行委員会

【1】グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績を記入してください。

「バリアフリーフェア」を2000年から毎年、横浜インポートマートと協力して開催してきた。実行委員会は、6階会場を担当し、「バリアフリー」を軸としつつ地域の多彩な活動の交流と発表の場を提供してきた。2006年からテーマに沿ったフォーラム等をマーケット内で開催しており2008年「わたしが使う あなたも使う 楽しく使う (ユニバーサル・デザイン)」、2009年「The 坐 (坐ることについて)」、2009年「ユニバーサルデザインファッションショー」と、多彩なテーマで情報発信してきた。去年は、「ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ショーケース at ヨコハマ」を開催し、マーケットとともに好評を博した。

【2】助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
4月	実行委員会
5月	実行委員会、「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」と協賛企業のコンタクト開始
6月	実行委員会、参加団体公募開始
7月	実行委員会、広報開始
8月	実行委員会
9月	実行委員会、15-16日 バリアフリーマーケット開催
10月	実行委員会、反省会、
11月	報告書提出
12月	
1月	
2月	
3月	

【3】助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿ってご記入ください。

- (1) 活動の内容 (2) 活動の主催者及び参加者 (3) 活動を実現するための方法 (4) 時期 (5) 場所
 (5) 当地区で活動を行う理由 (6) エリアマネジメントの効果 (7) その他、特徴やアピールする点

- (1)活動内容：「バリアフリーフェア2012・五感よ、ひらけ。感じよう世界を」の開催
・バリアフリーマーケット（イベントホールA）ブースごとに、展示、販売、ワークショップなど
特別企画「ダイアログ・イン・ザ・ダーク（以下DID）・ショーケース・イン・ヨコハマ」
（イベントホールB）—内容(7)参照
- (2)主催：バリアフリーフェア2012実行委員会・横浜インポートマート 参加者：一般
- (3)方法：方法：6階テナントと（株）横浜インポートマート（以下YIM）で、実行委員会をつくり、事務局をNPOスクエア連絡会で担当。6階会場は、YIMが2日間提供。実行委員会は、1回／月以上開催。A4広報チラシは、8月YIM独自企画（2階会場）とともにYIMが1万枚作製。館内に配置するとともに、実行委員会は、公募参加団体及び、関係施設に送付。また、新聞販売店の協力を得、新聞折り込みチラシを9月はじめに配付。昨年同様に全準備期間を通じ、webやfacebookで、情報を発信し続け広報する。バリアフリーマーケットA会場の参加団体も6月から公募。B会場の「ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ショーケース・イン・ヨコハマ」については、DIDと連携しながら、協賛企業の募集、協力をあおぎ、DIDツアーの内容も充実させる。YIMの近隣駅のデジタルサイネージも利用。「OPEN YOKOHAMA 2012」に応募予定。
- (4)時期：2012年9月15日（土）、16日（日） 場所：横浜ワールドポーターズ6階イベントホールA,B
- (5)理由：バリアフリーフェアは、「身体の違いや、年齢や、国籍や、性別の違いの壁（バリア）を取り払って、みんなで楽しもう！」を合言葉にYIMは、販促の一環として、参加団体は、それぞれのミッションをかかげて、開館以来、試行錯誤を重ねながら、実施している。多彩な人やものが行き交うみなとみらい・新港地区の商業施設で、「バリアフリー」を軸に、福祉分野の参加者だけがあつまるイベントとは異なり、横浜を中心に様々な分野で活動する団体、個人が自由に集まり、活動PRや製品販売をすることで、新しい発見を生み、さらに自然な交流を生んで来た。昨年、真っ暗やみのエンターテイメントDIDを開催し、今までに無い新たな客層の集客ができた。障害を超えた感性の多様さ、その楽しさをより多くの来場者に感じてもらう、新しい価値観、感覚を提示するこのエンターテイメントがみなとみらいにふさわしい。みなとみらいの商業施設で行うことが、多彩な人々があらたなチャレンジに夢を持って参加するチャンスとなる。
- (6) 去年のDIDは、初の試みであったため簡易な施工によるツアー（1回30人×7回）しかできなかったが、チケットは締め切りを待たずに完売した。アンケートによるとDIDと合わせて、その他のイベントや施設を回遊して1日過ごすという声が多く、DIDには、リピーターも多い。DIDのセットをよりベイエリアの横浜らしさを感じさせる「横浜ヴァージョン」として充実、継続すること、入場料のハードルを少しでも下げることで、幅広い層の参加を促し、MM21地区へ訪れる人が、「バリアフリー」としてのみなとみらいが良い意味で人々に、認識される効果があると考えている。
- (7)その他 「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」とは、「真っ暗闇のエンターテイメント」である。1989年ドイツの哲学者A.ハイネッケ博士が発案したもので、全く明かりのない暗闇を、数名がパーティを組み、1人のアテンドに導かれて巡り歩き、視覚以外の全ての感覚を研ぎ澄ませて、世界を感じよう、というものだ。視覚以外の感覚に集中していくにつれ、それらの感覚が豊かに開かれて、歩いたり、触ったり、食べたり飲んだりといった日常動作を行う中で、現代の都会生活で失われがちな感覚のバランスを取り戻すひとときを味わえる。また、目から入る情報が全くない中、パーティのメンバーと声をかけあい、ふれあうことなしには、何一つ動作することができない。私たちの中で眠っているコミュニケーション能力をフル回転させるうちに、普段とはまた違った、人に対する信頼感を体験できる。パーティを導くアテンドは、視覚障害者。しかし、この企画は、視覚障害の疑似体験ではない。健常者にとっては未知の、視覚障害という新しい文化・世界に漕ぎ出すことのできる、ひとときの冒険旅行だ。このDIDは、視覚障害者ならではのセンスを生かした新しいスタイルの雇用の場を作り出している。視覚障害そのものがチャンスとなる。

バリアフリー

フェア2011

at ワールドポーターズ
9/17 (土) 18 (日)

横浜ワールドポーターズ NPO スクエア

五感よ、ひらけ。
感じよう、世界を。

9/17 (土)・18 (日) 10:30~19:00 (最終日は17:00まで) 6F イベントホール

イベントホールA
入場無料

バリアフリー・マーケット

東日本大震災復興ミニ支援
各日先着100名様
いわき杉箸プレゼント

福祉、環境、健康分野でコラボした、アートやおしゃれなグッズが盛りだくさん。
自分だけのアロマ作りや、点字ペーパークラフトにも挑戦してください。終日パフォーマンス、
講演などがあります。

おいしいコーヒーとクッキーもあるよ！気軽にお立ち寄りください



DIALOG
IN THE
DARK

ダイアログ・イン・ザ・ダーク ショーケース at ヨコハマ

イベントホールB

見えない。が、見える！まっくらやみのエンターテイメント「ダイアログ・イン・ザ・ダーク ショーケース at ヨコハマ」で横浜を感じてみよう。

事前予約3,500円(当日券あり)

1回の体験時間は、約90分です。

申込み・お問い合わせは、ダイアログ・イン・ザ・ダークのホームページから

<http://bit.ly/ncya9f>

TEL 03-3479-9683

特別講演

9/17 (土) 14:00~16:00 イベントホールA



講師：金井 真介さん

ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン代表

<http://www.dialoginthedark.com/>

コンサルティングファームフェロー等を経て1999年からダイ

アログ・イン・ザ・ダークの日本開催を主宰。1993年、ウィーン発「Dialog in the Dark (DID)」を紹介した新聞記事に衝撃的に出会う。その全く新しいコンセプトに驚き、発案者ハイネッケ氏に手紙を書いたことから現在に至る。視覚障害者の新しい雇用創出と共に人が対等にコミュニケーションできるソーシャルプラットフォームとしての常設を願い、2009年3月より東京外苑前で長期開催中。

身体の違いや、年齢や、国籍や、性別の違いの壁(バリア)を取り払って、みんな快適に楽しもう！

お問い合わせ：045-211-1763(もくもくストーリーディオ) ホームページ：<http://www.nposq.jp/> Eメール：bff2011@nposq.jp

▶ 主催：バリアフリーフェア2011実行委員会 (NPOスクエア連絡会・㈱かいかや・日本ミニゴルフ協会)

(株)横浜インポートマート (<http://www.yim.co.jp>)

▶ 後援：横浜市文化観光局、マザーポートエリア活性化推進事業認定事業 ▶ 協力：かながわ県民活動サポートセンター

この事業は、神奈川新聞厚生文化事業団の助成を受けています。

ミニゴルフ 特別ご優待券
券ご持参の方には限り無いミニゴルフコースを
無料でプレイしていただけます。
※10名以上10,950円以上
予約必須
9/17(土)18(日)
10:30~19:00

まっくらやみのソーシャルエンターテインメント ダイアログ・イン・ザ・ダーク 横浜で初開催!

様々な文化が上陸し、今も新しい文化を創造し続ける港町ヨコハマでダイアログ・イン・ザ・ダークが初めて2日間限定で特別開催いたします。暗闇の中、五感で「ヨコハマ」を感じてみてください。

■DIALOG IN THE DARK SHOWCASE

@ YOKOHAMA■

◇開催日時： 2011年9月17日（土） / 9月18日（日）

【A】 9月17日（土）	10：30-12：00	【E】 9月18日（日）	10：30-12：00
【B】 9月17日（土）	13：00-14：30	【F】 9月18日（日）	13：00-14：30
【C】 9月17日（土）	15：00-16：30	【G】 9月18日（日）	15：00-16：30
【D】 9月17日（土）	17：00-18：30		<定員：30名>

所要時間：90分 お一人様：3500円 ※外苑前プログラムとは異なります。

お申し込みはHPから→ <http://bit.ly/ncya9f>

◆特別講演◆

9月17日(土) 14:00~16:00 イベントホールA

<参加費無料>

ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン

代表 金井真介



◇みえないバリアをなくし異文化コミュニケーションを体感!◇

ダイアログ・イン・ザ・ダークは現在、世界30カ国で開催されており、日本では1998年にダイアログ・イン・ザ・ダークを紹介する新聞記事を見つけた代表の金井が「是非とも日本で開催したい!」という熱い想いで実現したものです。1999年から2008年までは短期のイベント開催でしたが、2009年3月から今日に至るまで東京：外苑前会場にて長期開催しております。

暗闇では健常者と視覚障害者の立場が逆転し、「暗闇のエキスパート」である視覚障害者のスタッフが参加者を暗闇体験にご案内します。声や、言葉、匂いや手触りなど視覚障害者の「目を使わない文化」に触れながら性別、世代、国籍、障害の有無など、私たちをとりまく「見えない壁」=バリアをなくし本当の意味の異文化コミュニケーションを体感していただけます。暗闇という非日常において体験する日常の体験は、視覚以外の様々な感覚の可能性を思い出し、人のあたたかさを再認識します。

2010年からは暗闇でのビジネス研修を導入し、すでに260社以上の企業様にご利用いただき、暗闇だからこそ得られる気づきの深さが通常のビジネス研修とは異なるとご好評をいただいております。

ダイアログ・イン・ザ・ダーク外苑前会場

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-8-2 レーサムビルB1

TEL&FAX : 03-3479-9683

URL: www.dialoginthedark.com

DIALOG
IN THE
DARK